To the next step
～次へのステップ～

Ｂ班　大塚　須山　山田　吉原

＜はじめに＞

私たちは「二十歳のころ」を進めるにあたって、調べる企業を考えたときに私たちが共通して興味関心があることを基準に決めることにしました。そこで御ゼミが産業経営学科であること。また、経営＝社長（代表）という他の人の人生に大きく影響を与える仕事を職業としている方々が「二十歳のころ」にどのような経験をし、社長となりうる力を身に着けたのかについて興味があったため、社長経験のある方を対象にインタビューすることに決めました。

そして今回、元株式会社西友代表取締役社長の渡邊紀征（わたなべのりゆき）さんと現三井ホーム株式会社代表取締役社長の市川俊英（いちかわとしひで）さんにインタビューを依頼し、ご協力いただきました。

＜プロフィール＞

渡邊紀征さん

・一橋大学社会学部　卒業
・野村證券株式会社
・元株式会社ファミリーマート代表取締役副社長
・元株式会社西友代表取締役社長
・現在ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル特別顧問

市川俊英さん

・一橋大学商学部　卒業
・三井不動産株式会社
・東京ミッドタウンマネジメント株式会社代表取締役社長
・現在三井ホーム株式会社代表取締役社長

＜インタビュー概要＞

インタビューを通して御二方の二十歳のころ、また今までの経験をふまえたアドバイスを多くいただました。それらを簡潔ですが、以下にまとめました。ぜひ参考になさってください。

渡邊紀征さん

学生時代、家庭教師のアルバイトをしながら、麻雀や囲碁、準硬式野球の草野球を熱心にやっておられました。将来のためにしたことは、学生時代特になかったものの社会人になってから、これからグローバルな時代になることを察し、**「時事英語研究」**という月刊誌を 2, 30 年間読み続け、英会話の個人レッスンも 10 年間継続して受けたそうです。その結果、外資との提携交渉に大いに役立ったそうで、その経験から**「小さいことでも長く続けることが何らかの形で将来役立つ、キャリアのためになる」**と仰っていました。また**「嫌な仕事から先に片付ける」**、**「難しい仕事でも果敢に挑戦する」**など嫌なこと辛いことに出会っても勇気を奮いそれに立ち向かい**「前進」の精神**で目の前の課題に取り組む、そうすることで解決の糸口が見えてくると教えていただきました。この**「前進」**というキーワードは渡邊さんの座右の銘です。そして最後に、私たちが大学生のうちにしておくべきこととして３つあげてくださいました。１つ目は**グローバルな視点を持つこと**。２つ目は資格でも何でもいいから**何か１つ他人より秀でているものを持つこと**。３つ目は長く仕事健康でするためという意味も含め、**心体の土台を作ること**。この３つをあげてくださりました。

市川俊英さん

学生時代、麻雀や部活でバスケットボール部に所属し、忙しい日々を送っていたそうで、この頃家庭教師やデパートの包装のお手伝いなどをしていました。市川さんも特に将来のためにしたことはなかったものの、アルバイトは将来、社会に出る上で必要な能力を身につけられるのでインターンのような感覚でアルバイトをすべきだとおっしゃっていました。

また、挫折した時のアドバイスとして困難に遭遇するのは運ではあるが、その時は**目の前の仕事を一生懸命にやり、笑顔を絶やさず諦めない姿勢**が将来の自分の運を育てるともおっしゃっていました。私たちが今すべきこととして**語学と将来のために健康な生活**をすることをアドバイスしていただきました。さらに市川さんの考える**５つの能力**について教えていただきました。１つ目は**「コミュニケーション能力」**、２つ目は**「ハンティング力」**（契約を勝ち取ることやその過程で他社より顧客を惹きつける力）、3 つ目は**「アート力」**（様々なことに対して美しさを求めるということ）、４つ目は**「論理力」**、そして最後５つ目は**「数字力」**（取引などで自らの利益を求めつつ、顧客を惹きつけるディスカウントを瞬時にするなど数字に強いこと）の５つの能力です。これらの能力を兼ね備えられると仕事をする上でいいので学生時代から磨くこともアドバイスとしていただきました。

＜おわりに＞

今回忙しい中働く方の声を聞く貴重な機会をいただきました。御二方ともそれぞれが歩んできた人生をもとに独特な視点から振り返って頂きました。そのどれもが私たちにとって新鮮であり、考えさせられることでした。その御二方が大切だとおっしゃった共通点は**「語学力」**、**「ポジティブ思考」**、**「コミュニケーション能力」**、**「人脈」** です。その中でも**ポジティブ思考**は御二方ともかなり協調しており、私達にとって特に印象的でした。最後まで自分を信じ、ポジティブでいるからこそ道が開け、結果がついてくるのだと学べました。この二十歳のころという課題でこれからの学生生活に活きてくるお話しをたくさん伺うことができました。今後私達はこういったゼミ等の活動を通してコミュニケーション能力を高めつつ、人脈を広めたり、英語等の母国語以外の言語を１つでも話せるよう努力していきたいと思います。